

## 主な消防団活動

4月-

春の火災予防運動

各分団が地区内を巡回し、 火災予防について注意を 呼びかけます ポンプ操法競技大会に向

けて練習開始

5月-

春季消防演習およびポン プ操法競技大会

約1か月間に渡って練習 を重ねてきた成果を披露

します

6月-

荒川水防訓練 郡市操法競技大会 優勝すると夏に行われる

県大会へ出場

9月-

秋季消防演習および定例 表彰式

1月十

出初め式

これ以外にも、各分団では定期的 にポンプの点検を実施するなど、い つでも出動できるよう準備を整えて います。

を守るために頑張っている消 守るために消防団の一員とし 私たちが住んでいるこの村を している消防団 きなど、あらゆる場面で活躍 て活動しています。 行方不明者の捜索が必要なと 団員は普段仕事をしながら、 今月は、村民の生命と財産 村内で火災が発生したとき

違い…知っていますか?消防士」と「消防団」の

いる地方公務員のことです。 部や一部事務組合に勤務して 消防士は、市町村の消防本

ボランティア的な存在です。 で消火活動などを行う地域の ら、火災などが起きると現場 務など自分の仕事を持ちなが 消防団は、自営業・会社勤

索など

消火活動、

行方不明者の捜

な活動を行っています。 ん、災害時以外でも次のよう 災害時 消防団は、災害時はもちろ

ポンプ点検など

災害時以外 ポンプ操法訓練、

消防団の活動について 紹介します

僕らの村を守っている四百十人の団員たち

使命は

「村民の命と財産を守ること

## 関川村消防団の歴史 発足は昭和二十九年

し た。 ブニ十一台が配備されていま きポンプ二十四台、腕用ポン 消防ポンプ自動車一台、手引 関川村消防団が発足。当初は 年八月一日に合併し、 女川村と関谷村が昭和二十九 川村消防団条例」が公布され、 が誕生しました。 この年、「 関 市町村合併促進法によって 関川村

りました。 ポンプ十二台、可搬式小型動 数七百三十七人、消防ポンプ 力ポンプ三十六台の体制とな 自動車三台、手引きガソリン 編成替えをし、十九部、団昌 和四十二年に分団統合を行い、 への団員で構成。その後、昭 本部 (役場内)、七分団に 組織は十九分団、 千五十七

体制となりました。 船地域広域事務組合消防の発 式小型動力ポンプ四十八台の 消防ポンプ自動車三台、 十九部、 いた本部は解消され、七分団、 足に伴い、役場内に設置して 昭和四十九年四月には、岩 団員数五百七十三人、 可搬

となりました。 七部編成、定員四百六十八人 の見直しが行われ、七分団十 また、昭和六十四年に組織



消防信号 方が異なっていることが分 災害の種類によってたたき かります



▶はんしょう (半鐘)

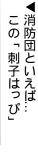
では、 た。 さんにお知らせしていまし ますが、昭和六十年代頃ま の皆さんにお知らせしてい 害は広報無線を通じて村民 しょう」を使って地区の皆 今でこそ、火災などの災 各分団ごとに「はん

たのですね。 伝えるために使い分けてい 違っていたことも分かりま んしょう」のたたき方まで 災害の種類によって「は 皆さんに的確な情報を

▶一昨年の秋季消防演習

で行った放水訓練のよ

うす







→ 分団第一部(上関)の写真。 ▼写真は、昭和四十五年当時の第二 写真です。 出初め式のときに撮影した貴重な 【写真提供・伊藤廣八さん(上関)】

載車が配備されています▼現在、村内で十六台の積





▶現在は、第二分団の一台